

KUINS ニュース No.9

京都大学学術情報ネットワーク機構



情報化月間記念式典で表彰状を授与される長尾真教授

目 次

ワークステーション接続届の様式変更と電子メール化	86
ノード異常時および停止時の注意事項	87
京都大学学術情報ネットワーク機構について	88
KUINS が優秀情報処理システムとして表彰される	90
TSS 端末による研究室からの図書・雑誌オンライン目録検索の開始について	91
KUINS 会議日誌	91

ワークステーション接続届の様式変更と電子メール化

1. ワークステーション接続届の様式変更

このたび、ワークステーション接続届の様式を一部変更し、記入項目を追加しました。

この接続届は、KUINS ニュースNo. 7でお知らせしましたとおり、サブLANにホストコンピュータ、ワークステーション、パソコン等の計算機（以下WSと略す）を接続する場合に、ノード管理担当者経由で提出していただいているものです。

図1に記入例を示します。

今回追加された項目はオペレーティング・システム名、ホスト名、メールのドメインマスターの3つです。

①オペレーティング・システム名

WSのオペレーティング・システム名を記入してください。

②ホスト名

WSのホスト名をドメイン名を含んだ形式で記入してください。ドメイン名が未定の場合はホスト名のみで構いません。

③メールのドメインマスター

メールのドメインマスターのホスト名を②と同様にしてドメイン名を含んだ形式で記入して下さい。不明の場合は何も記入しないで下さい。

新しい形式のワークステーション接続届をノード管理担当者宛に送付いたします。今後提出していただく場合には、変更後の接続届をご利用下さいますようお願いします。

2. ワークステーション接続届の電子メール化

ワークステーション接続届を電子メールでも提出していただけるようになりました。

あらかじめ決められたフォーマットに従って接

続内容を記述して下さい。提出先のアドレスは、“ws@kuins.kyoto-u.ac.jp”です。電子メールにて提出していただく場合のフォーマットや記述例は、“ws-request@kuins.kyoto-u.ac.jp”宛に電子メールを送っていただくと、電子メールにてお知らせします。この場合、本文やSubjectは特に必要ありません。また、ノード管理担当者でメールアドレスのわかっている方については電子メールにて送付いたします。

ワークステーション接続届		90年10月25日
学術情報ネットワーク機構 殿		
届出者		
氏名	白倉 由美	職名 技官
所属	大型計算機センターネットワーク掛	
Tel	753-7432	Fax 753-7450
E-mail	yumi@bonobono.kuins.kyoto-u.ac.jp	
下記のとおり、サブLANにワークステーションを接続しますので届け出ます。		
記		
①届出者記入欄		
・設置場所(郵局、建物、階、室)		
大型計算機センター2階計算機室		
・製品名・型式 SONY NEWS NWS-841		
・通信プロトコル TCP/IP		
・MACアドレス 8:0:46:3:72:a6		
・TCP/IPの場合IPアドレス 130.54.8.200		
〔IPアドレスは郵局のIPアドレス管理者から交付を受けてください〕		
・オペレーティング・システム名称 4.3BSD		
・ホスト名 bonobono.kuins.kyoto-u.ac.jp		
・メールのドメインマスター smarisu.kuins.kyoto-u.ac.jp		
〔メールのドメインマスターが不明の場合は記入しないでください〕		
・接続(予定)日 90年10月30日 ・記入項目の開示 <input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 否		
・その他(変更事項等)		
②ノード管理担当者記入欄		
・氏名 川原 砂緒		
・ノード番号 #40		
・サブLAN収容のスロット番号 7-1		
KUINS様式2		

図1. ワークステーション接続届記入例

ノード異常時および停止時の注意事項

吉田地区、宇治地区に設置されている基幹ループLANは、図2のような形式になっています。

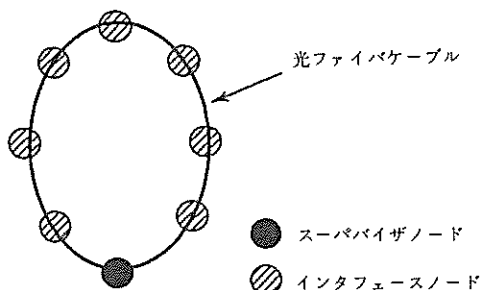


図2. 基幹ループLANの形式

基幹ループLANのようなループ状のLANの特徴は、閉じた伝送媒体にノードを接続し、接続したノードのうちの1つが全体の通信制御を行っていることです。このような通信制御を行うノードをスーパーバイザノードといい、スーパーバイザノード以外のノードをインタフェースノードと呼んでいます。インタフェースノードの数は、吉田地区が41、宇治地区が21となっています。

ノードが正常に稼動しているかどうかは、ノードの上部にある表示部（図3参照）に示されています。

① POWER, READY, CHECK

通常はPOWER, READYが点灯しています。CHECKが点灯している場合はノードに異常が発生していますので、学術情報ネットワーク機構まで連絡して下さい。

② HW STATUS (HIGHWAY STATUS)

ループ状になっている光ファイバケーブルの伝送路は右回りと左回りの2通り存在し、

それぞれ0系1系と呼ばれています。ここではどちらの伝送路で運用しているのかを示しています。一方の伝送路がダウンした場合でもすぐにもう一方の伝送路に切換えて運用できるように、2系統の伝送路が用意されています。

③ DISPLAY

上4桁はノードの状態を示しています。通常は全て0になっています。0以外の表示がある場合はノードに異常が発生していますので学術情報ネットワーク機構まで連絡して下さい。

下2桁はノード番号を示しています。これはノードを識別するための固有の番号で、吉田地区は1～41まで、宇治地区は1～21までの値になっています。

ノードは24時間稼動が望ましいのですが、停電などによりやむを得ず停止することもあります。ノードの1つが停止した場合を図4に示します。ノードCが停止するとLANに瞬断が発生し、

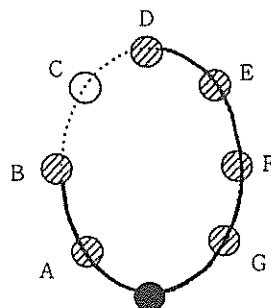


図4. 1つのノードが停止した場合

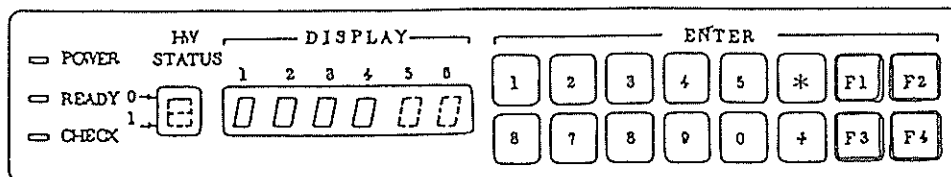


図3. ノードの表示部

このとき LAN に流れていたデータは乱れたり消失したりする恐れがあります。数秒後自動的にノード B とノード D で折り返して通信が行われます。この状態をループバックといいます。このとき 0 系と 1 系の両方の伝送路を使って通信が行われます。

即ち、停止したノード C 以外は正常に通信できるようにになります。

次に 2 つのノードが停止した場合を図 5 に示します。

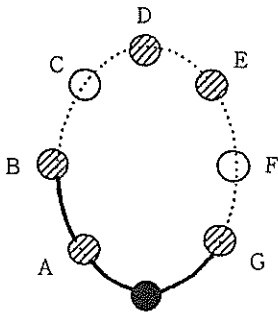


図 5. 2 つのノードが停止した場合

ノード C に加えてノード F が停止すると、先

程と同じように LAN に瞬断が発生し、ループバック状態になります。このときノード B とノード G 間でのみ通信が行えます。ノード D とノード E 間はノードが正常に稼働しているにもかかわらず通信ができなくなります。これは、ループ状の LAN は常にスーパーバイザノードがないと通信できないからです。

このように、複数のノードが同時に停止すると広範囲にわたり LAN が停止し、正常なノードまでが通信できなくなってしまいます。これを是非とも避けるために、電源工事などのためにノードを停止させる場合にはあらかじめ学術情報ネットワーク機構までご連絡下さいますようお願いいたします。

ノード異常時・停止時の連絡先

学術情報ネットワーク機構事務室

(大型計算機センター内)

情報システム管理掛

☎ 753-7841 753-7432

京都大学学術情報ネットワーク機構について

KUINS 第 1 期計画の完成に伴い、KUINS 計画の建設のために組織化された統合情報通信システム建設本部はその所期の目的を達し、平成 2 年 3 月末日をもって解散いたしました。

しかし、大学における多様な学術情報活動は、一元的な組織によって支援されることが必要であり、その組織の最終的なものは、今後学術情報シ

ステム整備委員会等で詳細な検討を重ねながら考えて行く必要がありますが、当面の暫定的な組織として、「京都大学学術情報ネットワーク機構」が平成 2 年 4 月 1 日より発足いたしました。(組織図は KUINS ニュース 8 号に記載。) この機構の主な業務は次のとおりです。

1. 研究開発部門

(1) データベース担当

- ① 学内各研究者のもつ学術情報の公開及びそのデータベース化に関する技術的援助・助言
- ② 国内・国外の商用データベース等の利用に関する仲介・相談など

- ③ 各種データベースの共通アクセス方式及び統合的利用方式の開発
- ④ オブジェクトオリエンテッドデータベースなどの新しいデータベース方式の研究開発
- ⑤ 画像・音声などを含むマルチメディアデータベースの研究開発

(2) ネットワーク担当

- ① KUINS システムの番号体系の整備, ローカル LAN の整備に関する援助・助言
- ② OSI, ISDN に対する対応, 国内・国際接続の今後の展開に対する対応
- ③ 高速・特殊データ通信, そのための各種機器接続のための技術的検討と研究開発
- ④ TV 会議, マルチメディア通信に関する研究開発

(3) 学術資料情報担当

- ① 全国図書館ネットワークの活用方式の検討
- ② 学術資料情報の組織化に関する助言
- ③ 図書資料情報の高次情報検索方式の開発, 自然言語による自由なデータベースアクセス方式の研究開発
- ④ レファレンスサービス支援システムの作成に関する研究開発
- ⑤ グレイリテラチャのシステム化, 図書資料情報のクロスレファレンス方式の研究
- ⑥ 電子図書館システムの研究開発
- ⑦ 各種 CD-ROM (辞書, 百科辞典, 画像・音声, 書誌情報など) のネットワーク接続と活用に関する研究開発

2. 事務部門

(1) 事務処理担当

- ① 情報通信システムの総合計画と推進
- ② 電話系以外の情報通信に関するユーザの窓口, 相談に対する助言や調査
- ③ 電話系以外の情報通信に関するユーザの利用状況の把握
- ④ 電話系以外の情報通信に関する保守管理と運用
- ⑤ 電話系以外の情報通信に関する普及, 広報
- ⑥ 担当者会議等の会議に関する事務
- ⑦ その他学術情報ネットワーク機構に関する庶務

また, KUINS 第 2 期計画としては, 犬山, 熊取, 宇治の各地区及び病院構内に ISDN 対応のデジタル交換機を設置し, 各地区の整備状況を同質化するとともに, ①超高速通信による動画像通信機能を付加し, 画像のリアルタイム処理を可能とする。②映像情報の伝送を可能とするシステムを導入し, 遠隔講義, テレビ会議を可能とする。③医療情報を専用に扱う光ケーブル LAN を導入し, 診療の高度化を可能とする。また, 多種多様な形式の学術情報を標準的な形式に変換する学術情報形式変換システム等を導入し, 学術情報の広

汎な流通を可能とする。などの整備実施計画を立案しています。

以上のように第 1 期計画に引き続き, 本学の統合情報通信システムを整備し, 学術情報システムを確立していきたいので, 全学の御理解と御支援をお願いいたします。

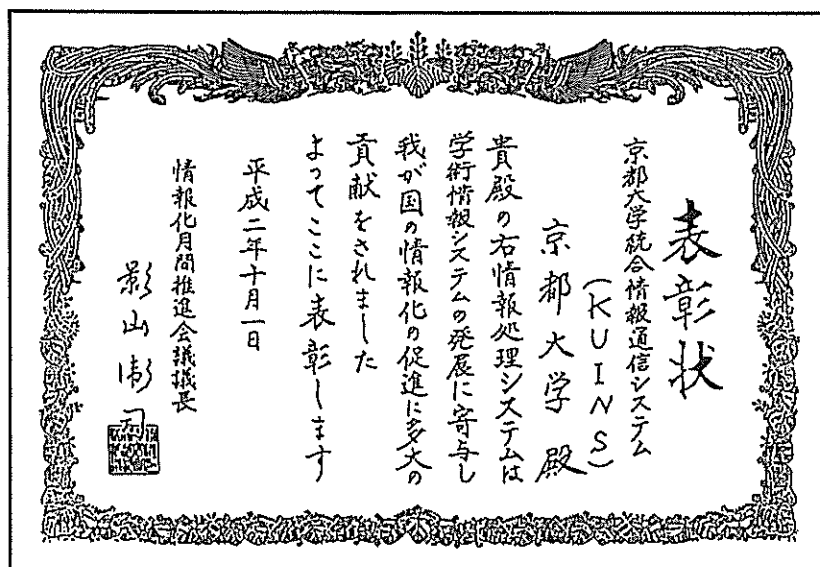
京都大学学術情報ネットワーク機構事務室

京都大学統合情報通信システム (KUINS) が 優秀情報処理システムとして表彰される

平成2年度の情報処理月間記念式典が、10月1日(月) ホテル・オークラ(東京)において、通商産業大臣、政府関係者等多数の出席のもとに行われ、本学統合情報通信システムが、優秀情報処理システムとして表彰されました。

この式典には、本学から長尾真工学部教授(元統合情報通信システム建設本部副本部長)及び金澤正憲大型計算機センター助教授が出席し、情報化月間推進会議議長から表彰状を授与されました。

なお、政府は、昭和47年より毎年10月を「情報化月間」と定め、健全な情報化を推進するための施策の一環として種々の行事を行っていますが、「情報化月間記念式典」はその主要な行事であり、この式典において情報化の促進に貢献した個人、企業・団体及び優秀情報処理システムの表彰が実施されています。



TSS 端末による研究室からの図書・雑誌 オンライン目録検索の開始について

附属図書館では、10月1日より標記の検索サービスを開始します。これは、研究室等のTSS端末から附属図書館のホストコンピュータに接続して、本学に所蔵する図書・雑誌の目録をオンラインで検索するもので、利用は無料です。

検索できる目録データは、開始当初で図書18万冊（主として最近の受入分ですが、未入力部局もあります。）、雑誌6万件で、順次新規分が入力されていく予定です。検索システムは大型計算機センターと同様のFAIRSを使用しています。

TSS端末は、大型計算機センターに接続できるもので、日本語処理（JIS 83）、KUINS接続の可能なものを対象とします。

利用申込みができるのは、本学の教職員、大学院学生及びそれらに準ずる方々です。利用についての案内を各部局に通知しましたが、詳細は附属図書館のカウンターあるいは参考調査掛（2636）までお問合せ下さい。

附属図書館

KUINS 会議日誌

平成2年4月1日～9月30日

学術情報ネットワーク機構運営会議

2. 4. 23 第1回会議
- 平成3年度概算要求について
 - 第1案に向けての当面の計画について
 - 運営会議のメンバーについて
 - 担当課長等連絡会の開催について
 - 平常業務の決裁書類について

学術情報ネットワーク機構担当課長等連絡会議

2. 6. 12 第1回会議
- 担当課長等連絡会議の構成員について
 - 学術情報ネットワーク機構の進め方について
 - 当面する諸問題について

KUINS ネットグループ連絡会

2. 4. 20 第1回会議
- 基本的項目の検討と分担

2. 5. 24 第2回会議
- 学術情報ネットワーク機構の活動と分担
2. 6. 19 第3回会議
- サブグループ活動状況の報告
2. 7. 25 第4回会議
- サブグループ活動状況の報告
 - KUINS ニュースの発行について
2. 8. 28 第5回会議
- サブグループ活動状況の報告

